

かまにし

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

第78号

わがまちの顔

子どもたちの囲碁普及に取り組む

やじま けんじ

矢島 賢二 さん

将棋とは違って「囲碁」はルールがよくわからなくて何となく取っ付きにくい、と思っっている方が案外多いのではないのでしょうか。でも一度は「駄目を押す（駄目押し）」「一目置く」「定石」「布石」「傍目八目」など、私たちの日常生活に入り込んでいる囲碁用語を耳にしたことがあるのではないのでしょうか。



矢島さんによる囲碁の指導

ところで、毎週日曜日の午前十時から、「ふれあいはずぬま」で子どもたちに楽しく囲碁を教えている、矢島賢二さんを「存じますか」。矢島さんは現在西蒲田六丁目に住まいで、昭和二三年生まれの七十二歳。「団塊の世代」で小五の時に蓮沼小学校ができて、同校の第一期生だそうです。

長年、都立高校の社会科教員として勤務し、退職後、嘱託として戸山高校に配属。そこで、女子団体戦全国制覇の戦いを目の当たりに見ることができ、碁の考え方が一変したそうです。

自称アマ五段の腕前で、品川区の学校囲碁指導員として活動。品川区で行われた「子ども囲碁大会」ではチーム戦で「ふれはず囲碁教室」の子どもたちを率い、三位に入賞しました。区内でも池上小学や田園調布小学校、池上児童館などで囲碁を教えています。今は休止していますが、池上特別出張所の「池上子ども囲碁サロン」で

も、青少対とともにボランテイアで教えていました。

一月五日は、一と五の語呂合わせで全国的な「囲碁の日」ですが目立ちません。ハロウインのような「囲碁祭り」を目指しているそうです。

平成三〇年に「大田区こども囲碁普及協会」を設立して代表に就任、少年育成団体兼社会教育関係団体に登録しました。現在は「ふれあいはずぬま」を本拠地に活動しています。テレビの囲碁番組でもお馴染みのプロ棋士の水間俊文七段を始め、長島梢恵女流棋士とも懇意で区内の大会にゲストで呼んでいるそうです。「三世代で囲碁を楽しむのが夢」だそうです。囲碁はお年寄りのボケ防止になり、体力も関係なく、だれでも楽しめるのが素晴らしい、その効能については話が尽きない、と言います。

教師をやっていただけに、初心者には丁寧にルールを教えているので、あなたも囲碁を始めてみませんか。詳しくはホームページをご覧くださいとのこと。

【ホームページ】

<http://furehasu15.amebaownd.com>

(取材 多田委員)

小河内ダムの建設と二ヶ領用水

多摩川両岸物語⑤

本稿は、多摩川の両岸住民の近世利害史について述べたものであり、本紙第66、68、71、73号にこれまでの経緯が掲載されています。ぜひご覧ください。

『日陰の村』の題材

東京市は大正末から市民の用水需要増大の対策に取り組んできました。一九三一年（昭和六年）、小河内（おごうち）村を水没させて大貯水池を建造することを計画しました。東京市の原水道局長と小野水道拡張課長が小河内村役場を訪問し、小沢村長に対し、ダム計画への協力を要請したのです。

この計画に対し村会議員は全員反対を表明しますが、小沢村長は「皇城下の東京市の用水とあらば光栄ある犠牲を覚悟しなければならぬ」と議員を説得します。そして、議員は全員、村長の熱意に押されて交渉に応じることを決定したのです。

一九三七年（昭和十二年）に、石川達三が発表した社会派小説『日陰の村』には、突然降りかかったダム計画と、その計画延期に翻弄される小河内村民の苦難がえ

がかかれています。ここにも多摩川を挟んで両岸の住民の利害が大きく絡んでいたのです。

では小河内ダムの建設に向けて何があつたのかみていきましょう。

ダム建設までの流れ

一九三二年（昭和七年）、東京市は工事計画に沿って測量を開始し、一年後には村民に対する補償費、移転費用などを交付することを言明しました。これを受けて翌一九三三年、村民はいっせいに移転準備に取りかかり、近隣近郷から、八ヶ岳山麓、遠くは満州への集団移住まで考えて移転先を物色し始めました。当時、日本は満州に「満州国」を作っていました。

ところが、この年の四月、神奈川県（稲毛、川崎の二ヶ領（にかりよう）用水組合から抗議が出され、この抗議に神奈川県が裏付けの理論展開を行ったので、内務省の建設許可が得られず、工事計画そのものが暗礁に乗り上げてしまいました。

その影響をまともに受けたのが小河内村民で、それからの数年間、大変苦しむことになってしまいました。

す。神奈川県側は小河内ダムの建設について、どのような抗議を内務省にしたのでしょうか。

そして内務省が建設許可を出さなかったのはなぜでしょうか。

神奈川県側の抗議

神奈川県側の抗議内容はこうでした。

二ヶ領用水（一五九七年起工）は、玉川上水（一六五三年起工）の起工よりも五〇年も早く、したがって水利上の優先権を持つものである。

しかるに、用水の欠乏で絶えず苦しんでいるにもかかわらず、東京市水道局は取水量を確保する目的で、一九〇五年（明治三八年）ころから、古来蛇籠（じやかご）工法で作られていた羽村堰をコンクリート堰に改造、以降、下流の取水は、さらに難儀するようになった。さらに、村山貯水池、山口貯水池の建設によって、ますます難儀をしているのに、さらに追い打ちをかけられたのでは、たまったものではない。

神奈川県側の抗議は歴史的な事実を踏まえた当然といえざる内容の抗議でありました。しかしその板挟みになってしまったのが小河内村民です。

小河内村民たちは、一年以内に支払われるという約束の補償費、移転費を当てにして、金融機関から借金をして移転準備につき込んでいたのが、工事計画の頓挫によって補償費は手に入らず、借金の利子は増えるばかりでした。

一年以内に移転といわれていたので作物栽培はしておらず、食べるものにも困るありさまでした。しまいには高利貸しや悪質ブローカーが暗躍し、娘を身売りしたり、自殺者まで出す事態となつて、村は荒廃していきました。

因果はめぐつて

一九三五年（昭和一〇年）一月一日、小河内、丹波山、小菅の三村民約一〇〇〇人は、むしろ旗を押し立てて大挙陳情請願に繰り出しました。しかし官警の厳しい弾圧にあつて、結局代表者一〇名のみを帝都に送るということで妥協、残りの村民たちは後を託して引き上げました。

神奈川県側の二ヶ領用水側に補償金を払うことで問題が解決したのは一九三七年（昭和十二年）です。翌年の一九三八年六月には八年に

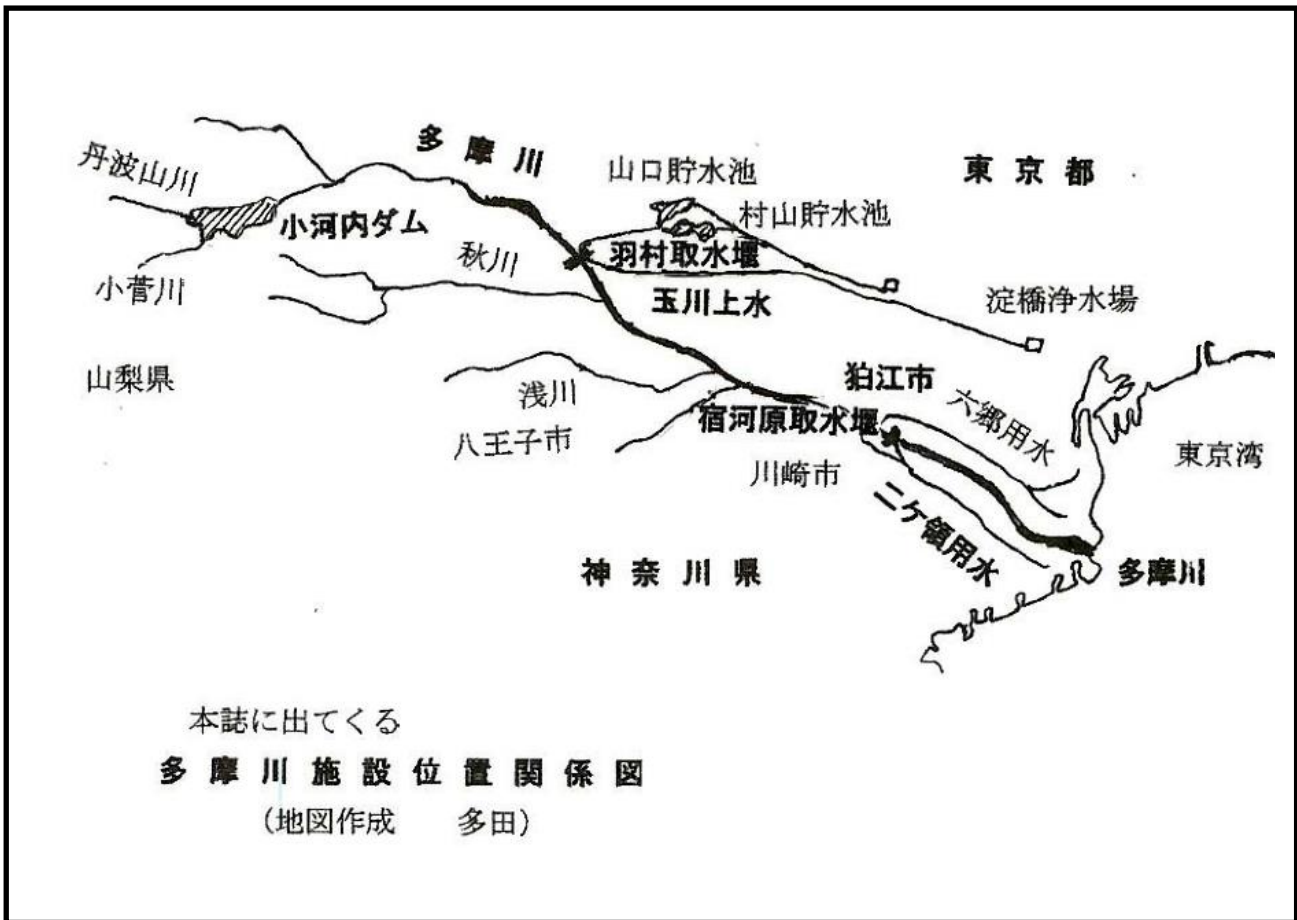


小河内ダム(東京都西多摩郡奥多摩町原5番地)
 (東京都水道局ホームページ「小河内ダムの紹介」から)
 ダムの後方に広がる奥多摩湖の中には小河内村がありました。

もわたる紛争解決の調印式が行われ、一月には地鎮祭が行われました。二ヶ領用水組合の後ろ盾の存在だった神奈川県横山県知事が、一九三五年(昭和一〇年)に東京都知事に就任(当時知事は官選で、内務大臣の辞令一本で任免されました)、二ヶ領用水組合との問題解決にあたりました。ダムは戦時中に工事が中断されましたが、一九五七年(昭和三二年)に完成

しました。
 なお、東京側の小河内ダム建設で被る不利益の補償金を使って、神奈川県側の二ヶ領用水側では取水堰を改修しました。ところが、この頑丈な取水堰が、一九七四年(昭和四九年)、東京側の狛江の堤防決壊、一九戸の民家流出の一因となったのは、何とも皮肉な結果でした。

(取材 多田・大良委員)



ご存知ですか？

環八のジャカラнда

環状八号線わき（西蒲田八丁目一五）、イチョウの街路樹に挟まれて、一本のジャカラндаが枝を張っています。六月も中旬になると、みずみずしい青紫色の花が見ごろを迎えますが、さて今年、花の様子はいかがでしょうか？
都内では珍しい、しかも大動脈「かんぱち」の排気ガスを浴びながら…とSNSなどで拡散されて、毎年、足を運んでくるファンが多いようです。



環八のジャカラнда

(お詫び▲カラー印刷でないため、花の様子が不鮮明です)

ジャカラнда (Jacaranda) は熱帯アメリカ原産、ノウゼンカズラ科の半耐寒性常緑高木で、花が似ていることから別名キリモドキともいわれます。

花言葉は「名誉」「栄光」。ラツパ状に咲く花が、ファンファーレに吹くトランペットを連想させるからだそうです。俗に「花が頭に落ちると幸運が訪れる」というのも、その延長でしょうか。

この木はカエンボク、ホウオウボクと共に世界三大花木の一つといわれ、東日本では熱海市の海岸通り(ジャカラнда遊歩道)が知られています。一九九〇年、ポルトガルのカスカイス市から、姉妹都市記念にと二本贈られたのが始まりだそうで、今では数十本を超えるまでになっています。

ところで、環八のジャカラндаの由来はどのようなのでしょうか？

記憶をたどりながら、植物研究家のSさんは、次のように話しています。

「当時給油スタンドを営んでいた(今は駐車場になっている)Aさんが、大きくなったジャカラнда

ともう一本(たぶん、アンデスノオトメだった)、この二本をスタンド前の街路樹の間に移植したのが始まりだったと思います」
そのうちジャカラндаが生き続けて数十年、今や幹回り一〇センチ近くに育って花を咲かせているのです。

この木は、区民のアンケートによつて、大田区のHP「まちの緑の図(蒲田西地区)」にも掲載されています。

既定の街路樹ではないという負い目はあるものの、できればその周囲をもう少し整備できないものか…、地元民の一人として行政当局の更なるご高配をお願いしたいと思っています。

(取材 山口・飯嶋委員)



熱海のジャカラнда

がまにし17」をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。

事務局 蒲田西特別出張所
大田区西蒲田七-1-1
電話 3732-4785

蒲田西特別出張所管内

| | | |
|----|-----------|----------|
| 人口 | 男 | 32,420 人 |
| | 女 | 30,089 人 |
| | 計 | 62,509 人 |
| 世帯 | 36,378 世帯 | |

令和3年 5月1日現在